

## 戸塚区役所とボランティアセンターの協力

ボランティアセンターでは学生たちによる地域活動の充実のため、戸塚区役所と協力した活動に取り組んでいる。その1つが「戸塚区と学生の懇談会」である。懇談会が始まった昨年に比べると地域と学生、大学の日常的な交流が活発になり、懇談会のようなフォーマルな場を利用せずとも意見交換などをおこなえる関係が生まれていたため、今年度は回数を減らし7月と3月と2回開催されることとなった。今年度は多くの学生に懇談会に参加してもらおうと電子掲示板で呼びかけを行った結果、新たなサークルや社会人学生などが懇談会に加わった。7月の懇談会では「戸塚区民まつり」にJUNKO Associationが参加し、「手話サークルぽっけ」は「ふれあい文化祭」で手話歌を披露したり、聴覚障がいのある子どもが在籍している舞岡保育園で手話歌や簡単な手話を紹介することが決まった。

一方、国際協力を行う学生のサークルからは戸塚駅周辺で途上国支援を目的としたアジア雑貨の販売ができないかという要望があり、その結果秋からはじまった「戸塚区民市」（詳しくは本書「戸塚の商店街とのつながり」のページを参照）での出店が実現し、また大学正門のすぐそばにある「パン工房アンジュ」（詳しくは本書「横浜 YMCA ワークサポートセンター『パン工房アンジュ』を拠点とした交流」のページ参照）を拠点とした国際協力活動の可能性を検討していくことになった。<sup>1</sup>

2つ目は、昨年よりボランティアセンターが参加していた「柏尾川魅力づくりフォーラム」に明治学院大学も構成団体となり、区内の小学校や福祉施設、企業、YMCA、柏尾川の環境保全をしている市民グループとともに、柏尾川の魅力づくり活動を進めている。「柏尾川クリーンアップキャンペーン」として、年に数回の清掃活動のほか、柏尾川に生息する生物の観察、周辺の花壇整理などを行っている。夏に開催予定だったこの行事が雨のため中止となってしまったが、次回開催の春には、アメリカンフットボール部や学生スタッフをはじめ、多くの明学生が参加する予定となっている。

以上のように戸塚区とボランティアセンターの協力関係は進展し、11月に白金キャンパスで開催された「ボランティアファンド学生チャレンジ賞」の助成企画による中間報告会には、戸塚区区政推進課長の住吉氏ほか、戸塚地域から多くの人々の来場があり、学生たちの活動に期待と関心を寄せてくれることが分かった。今後は地域の人々との協力関係をもとにして、戸塚地域の発展につながる活動を積極的に推進していきたいと考えている。 (糸井)

---

<sup>1</sup>懇談会に参加していたサークルが懇談会での議論に触発され、「戸塚商店街でのフェアトレード商品販売」を企画した。この企画は第8回「ソニーマーケティング学生ボランティアファンド」から助成金を獲得するなど、新たな地域と学生の協働活動がスタートするという波及効果をうんだ。